

【2024年卒 就職活動TOPIC】 就職活動の費用は増加傾向 対面での選考増加が影響

就職活動費用は平均8万2,905円と、交通費などを中心に2023年卒より7,660円増加。
対面での面接機会等が増えたことが影響したと考えられる

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）のより良い就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、就職みらい研究所学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

オンラインでの就職活動は定着しつつも、「オンラインのみ」での活動は減少



所長 栗田 貴祥

今回は、学生が就職活動に使用した金額についてレポートします。2024年卒学生が6月12日時点で就職活動に使用した金額は、平均して8万2,905円と、2023年卒から7,660円増加しました。使用した金額の内訳を見ると、「交通費」「被服費」「宿泊費」の項目で、平均金額が大きく増えています。就職活動における説明会・一次面接・最終面接の参加形態を見ると、24年卒では23年卒と比べて「オンラインのみ」で参加した割合がどのプロセスにおいても減っており、最終面接では「対面のみ」で参加した割合が増えている様子がうかがえます。このように、対面での選考機会が増えたことが、就職活動費用の増加に影響したものと考えられます。また、2～6月中の就職活動にかけた時間の割合は、23年卒から引き続きいずれの月においても低い結果となりました。就職活動でのオンラインの活用は定着し、学生はうまく使い分けることで学業やプライベートの時間の確保につながっているようです。前年から就職活動費用は増加しましたが、例えば全国の「交通費」の平均金額は、コロナ禍前の2020年卒と比べると約4割の水準です。今後も学生の負担が軽減し、少ない費用でより良いマッチングが可能になるような就職・採用活動への発展を期待します。

就職活動全体にかかった平均金額の比較

大学生_全体（就職志望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生/数値回答） ※大学院生除く（円）

	就職活動全体にかかった平均金額				差 (24年卒-23年卒)	
	2024年卒 (2023年6月12日時点)	2023年卒 (2022年6月12日時点)	2022年卒 (2021年6月12日時点)	2020年卒(参考) (2019年7月1日時点)		
全国	82,905	75,245	72,034	128,890	7,660	
地域別	北海道・東北	88,332	99,048	92,245	140,861	-10,716
	関東	75,726	73,343	65,193	117,374	2,383
	中部	76,991	77,305	76,508	132,900	-314
	近畿	87,297	71,891	62,579	131,201	15,406
	中国・四国	115,165	59,195	101,491	139,967	55,970
	九州	94,751	84,393	78,368	156,989	10,358

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

「交通費」「被服費」「宿泊費」などで、平均金額や使用率が2023年卒と比べ増加

- ・「交通費」「被服費」「宿泊費」などの項目で、2023年卒に比べ平均金額や使用率が増加した。
- ・「交通費」の平均金額を地域別で見ると、「近畿」「中国・四国」「九州」で前年に比べて大きく増加した。
- ・「交通費」の平均金額は前年より増加した地域も多いが、コロナ禍前の2020年卒と比べると、「近畿」を除き、約4割の金額であった。

就職活動費用の内訳

大学生_全体（平均金額：就職志望者のうち各項目で「1円」以上使用した学生 / 数値回答）※大学院生除く
 （使用率：就職志望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生 / それぞれ単一回答）
 ※ 項目ごとの平均額のため、各項目の合計は「就職活動全体にかかった平均金額」とは一致しない

（平均金額：円 使用率：% 使用率の差：ポイント）

		交通費	被服費	宿泊費	飲食費	書籍費	公務員試験対策費	スキルアップ費用
n	2024年卒	882	857	138	515	482	93	229
	2023年卒	949	857	141	493	626	123	257
	2022年卒	1,218	1,166	118	666	833	146	326
	2020年卒(参考)	1,367	1,205	286	1,215	878	152	400
平均金額	2024年卒	21,312	36,463	18,544	5,783	4,046	124,893	23,431
	2023年卒	17,555	33,500	13,810	5,423	4,737	136,896	22,732
	2022年卒	17,420	31,462	13,313	6,104	5,193	116,455	21,806
	2020年卒(参考)	49,466	36,869	27,059	12,488	5,697	105,195	23,847
	24年卒-23年卒	3,757	2,963	4,734	360	-691	-12,003	699
使用率	2024年卒	90.1	87.5	14.1	52.6	49.2	9.5	23.4
	2023年卒	88.1	79.6	13.1	45.8	58.2	11.4	23.9
	2022年卒	85.3	81.7	8.3	46.7	58.4	10.2	22.9
	2020年卒(参考)	98.2	86.6	20.5	87.3	63.1	10.9	28.7
	24年卒-23年卒	2.0	7.9	1.0	6.8	-8.9	-2.0	-0.5

就職活動交通費の地域別平均金額

大学生_全体（平均金額：就職志望者のうち交通費で「1円」以上使用した学生 / 数値回答）※大学院生除く

（円）

		就職活動交通費の平均金額				差 (24年卒-23年卒)
		2024年卒 (2023年6月12日時点)	2023年卒 (2022年6月12日時点)	2022年卒 (2021年6月12日時点)	2020年卒(参考) (2019年7月1日時点)	
全国		21,312	17,555	17,420	49,466	3,757
地域別	北海道・東北	27,708	29,036	26,951	68,624	-1,328
	関東	14,719	13,696	13,818	37,157	1,023
	中部	21,116	18,399	19,019	49,593	2,717
	近畿	27,480	20,473	15,354	51,739	7,007
	中国・四国	28,457	19,660	29,790	70,990	8,797
	九州	32,968	15,979	20,286	79,383	16,989

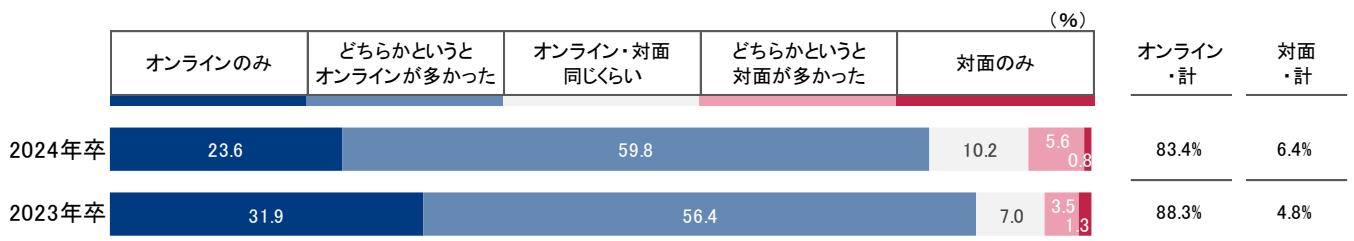
「オンラインのみ」での参加の割合は減少、最終面接では「対面のみ」が増加

- ・各プロセスの参加形態について聞いたところ、「オンラインのみ」の割合は2023年卒と比べてどのプロセスでも減少していた。
- ・説明会と一次面接は「オンラインのみ」と「どちらかというオンラインが多かった」の合計が8割以上であった。
- ・最終面接は「対面のみ」が43.5%で最も高く、23年卒と比べて10.0ポイント増加した。

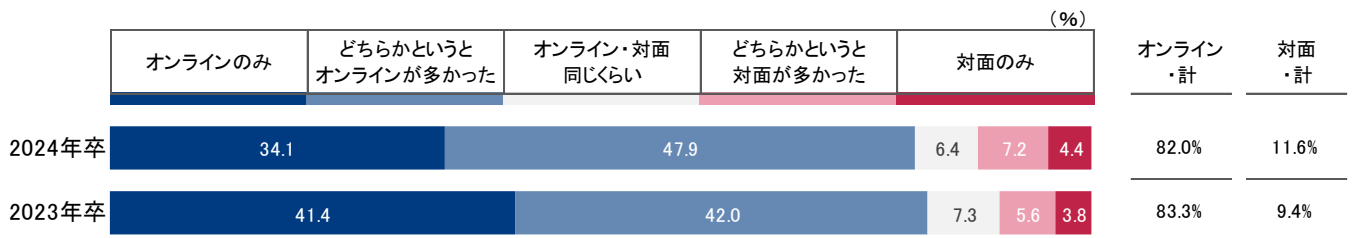
6月12日までに経験した参加形態

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答）※大学院生除く

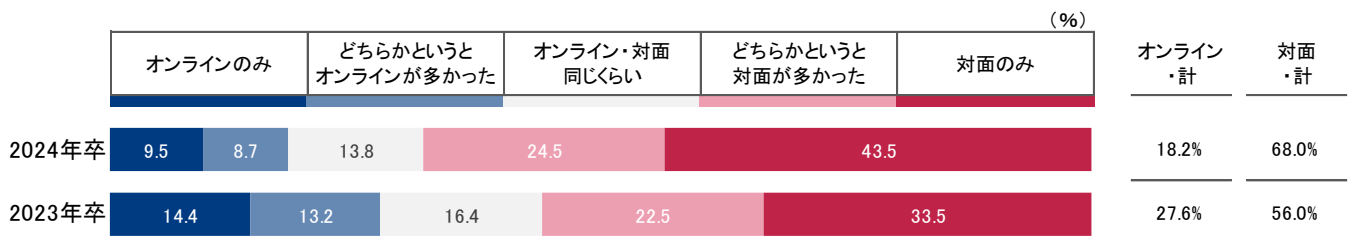
説明会



一次面接



最終面接



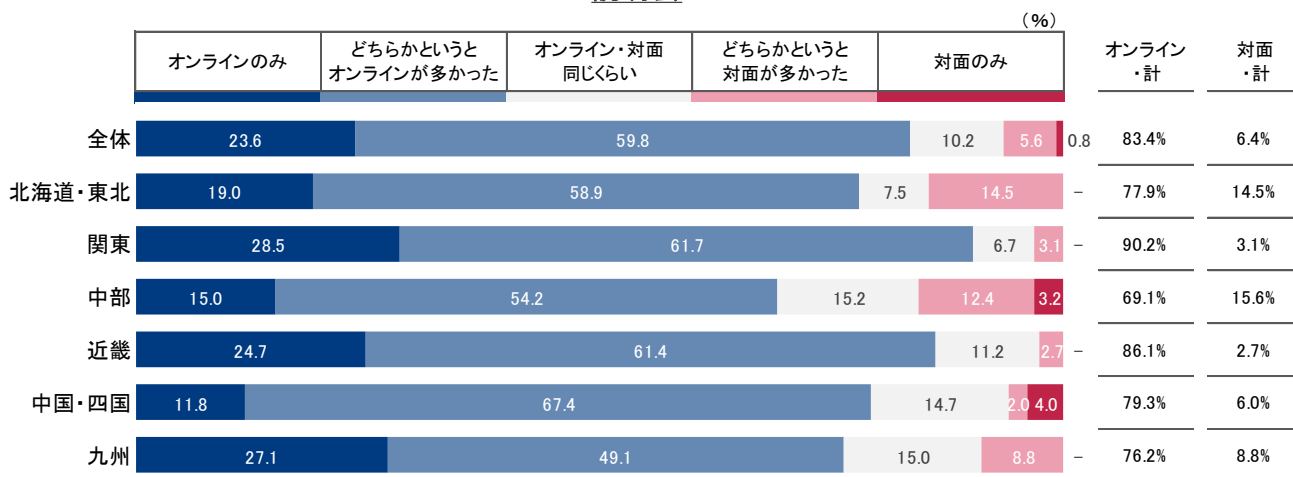
各プロセスのオンラインと対面の参加状況は、地域によって異なる

・各プロセスの参加形態について学生の居住地別に見ると、各プロセスごとにオンライン、対面の参加状況に違いが見られた。

6月12日までに経験した参加形態（地域別）

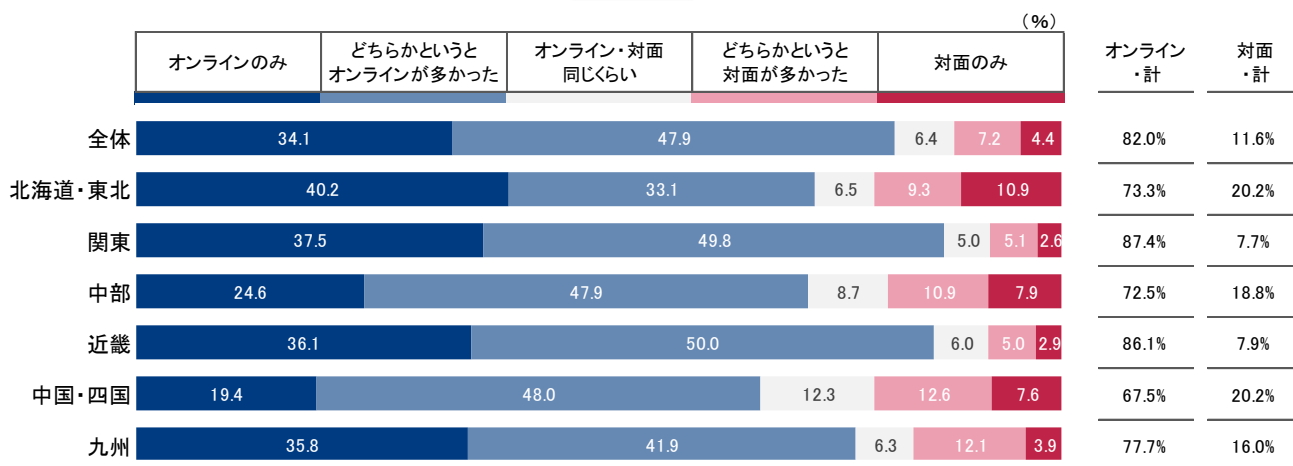
大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答）※大学院生除く

説明会

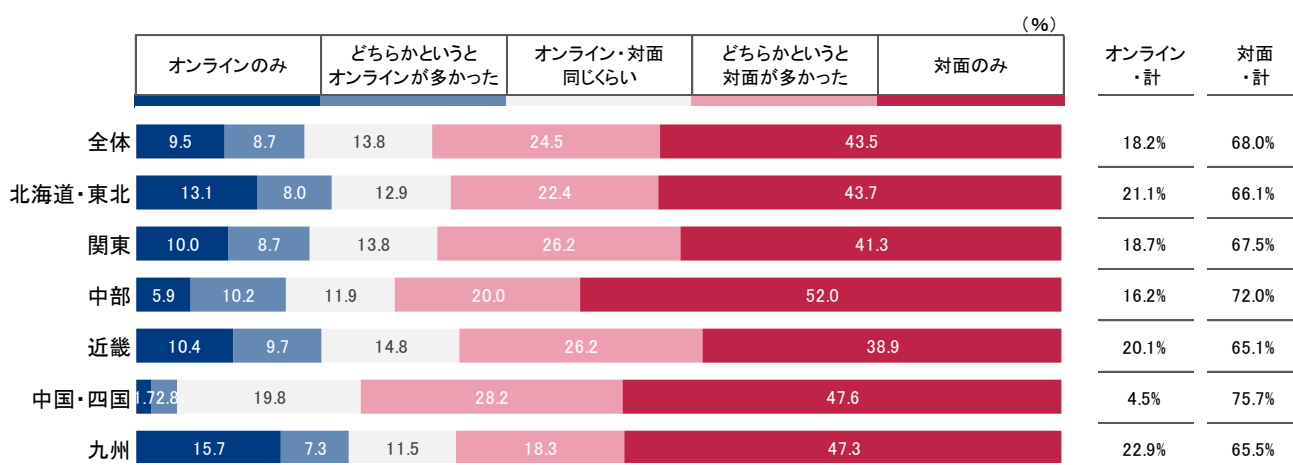


(※) 説明会の「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

一次面接



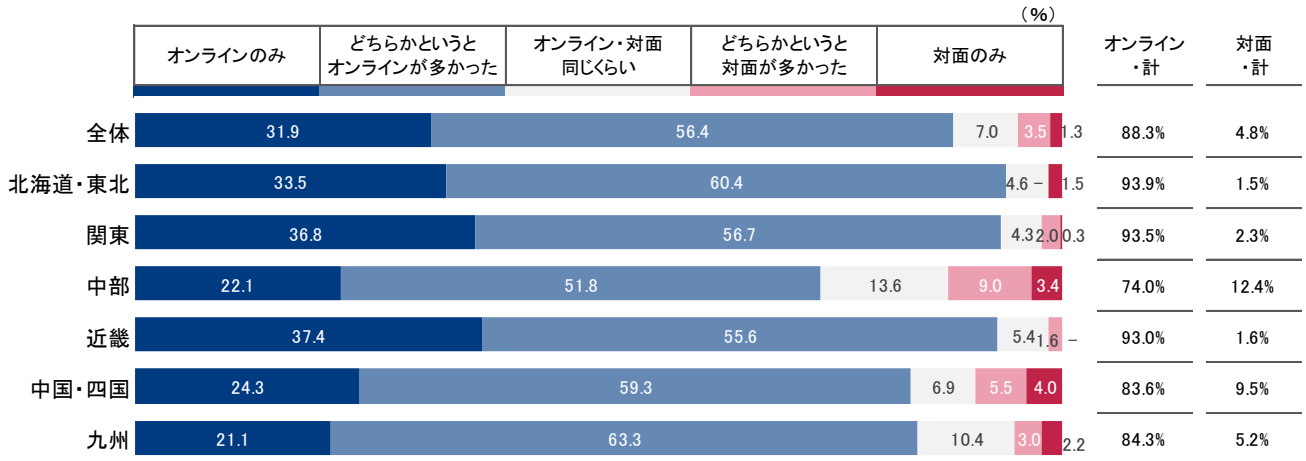
最終面接



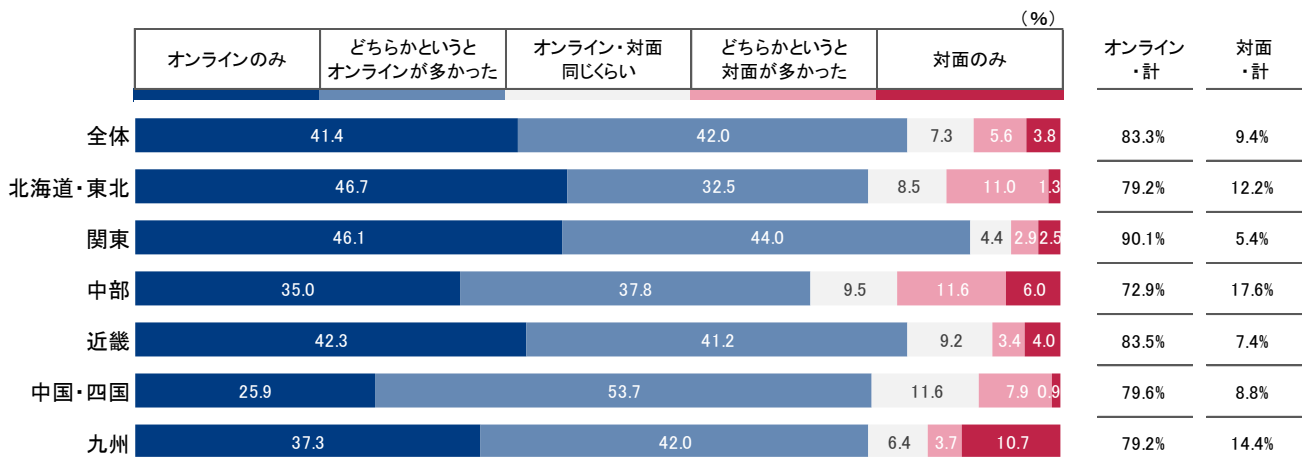
2022年6月12日までに経験した参加形態 (地域別・2023年卒)

大学生_全体 (就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答) ※大学院生除く

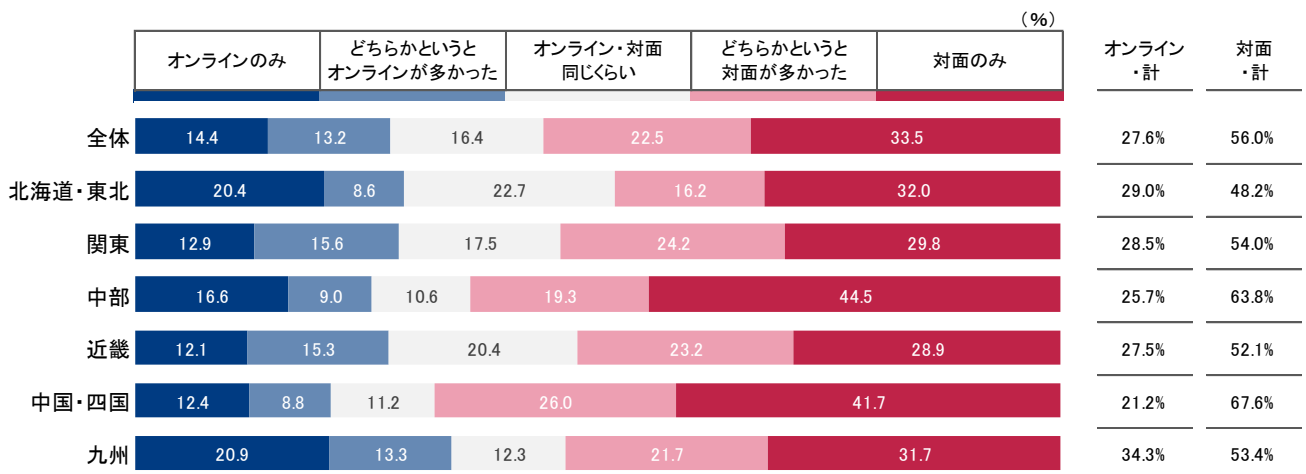
説明会



一次面接



最終面接

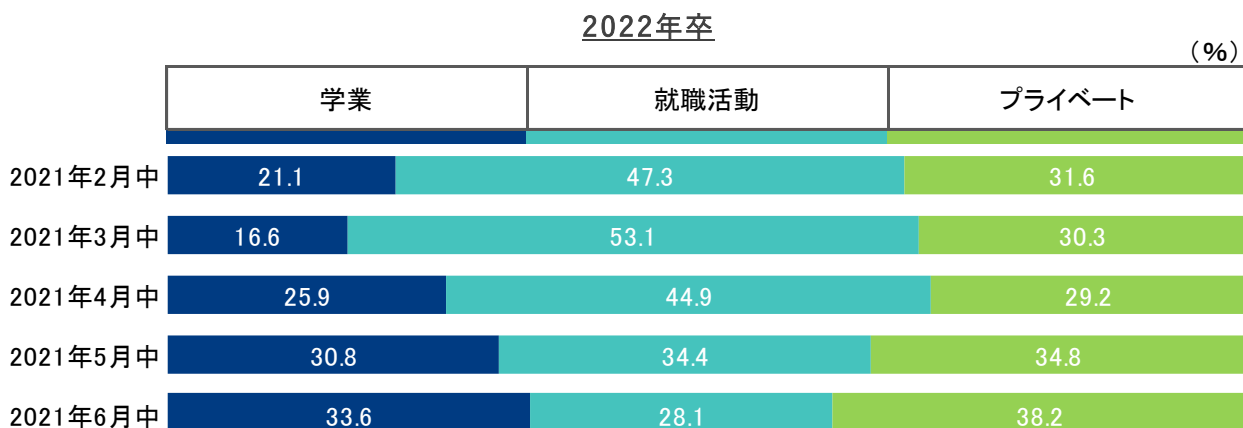
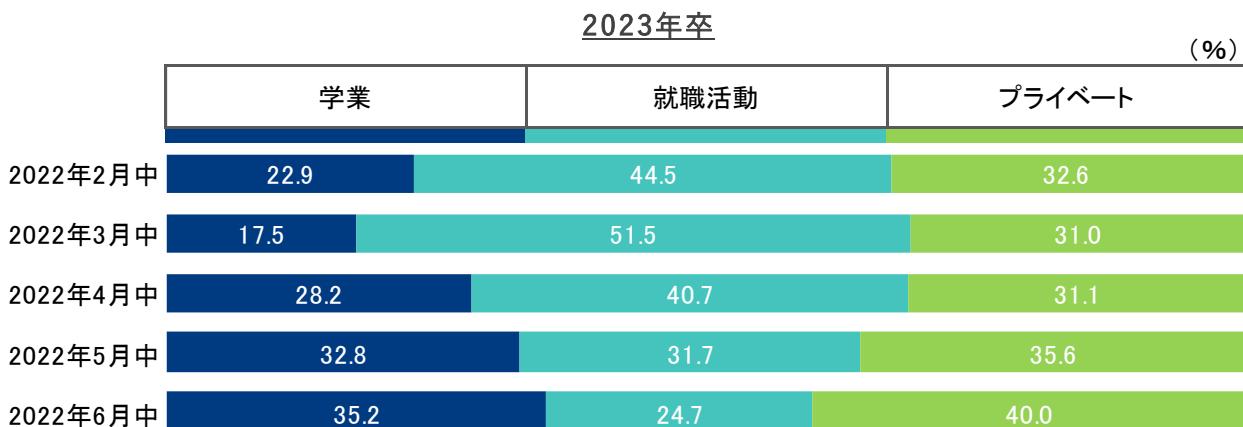
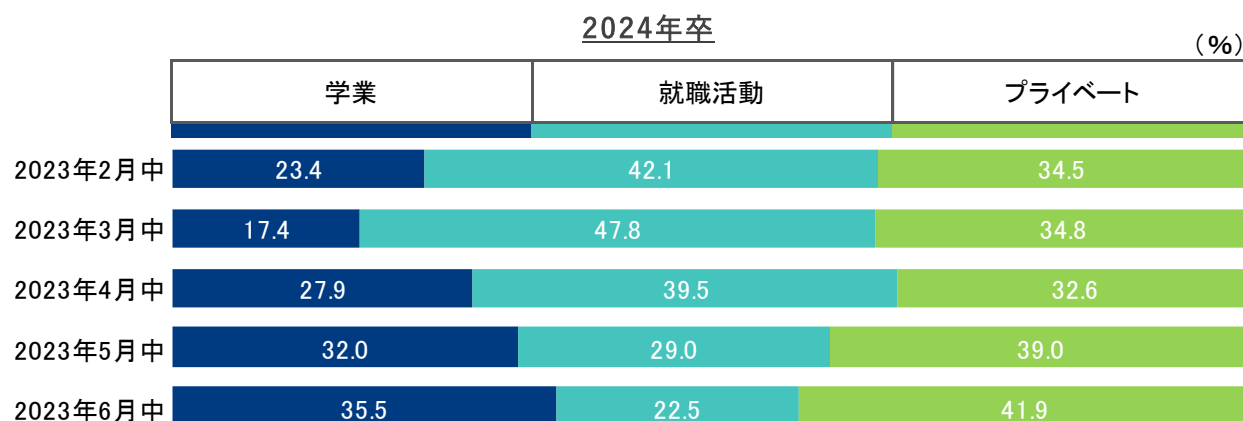


「就職活動」時間の占める割合は、前年・前々年に比べ、いずれの月でも低い

・各月の「学業」「就職活動」「プライベート」時間の割合を見ると、2024年卒においては、2023年卒・2022年卒と比べて、いずれの月も「就職活動」の割合が低くなった。

各月の「学業」「就職活動」「プライベート」時間の割合

大学生_全体（就職志望者/数値回答） ※大学院生除く



調査概要

調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法 | インターネット調査

集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2024年卒：2023年6月12日時点

調査対象 | 2024年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2024』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,567人（内訳：大学生3,574人/大学院生993人）

調査期間 | 2023年6月12日～6月19日 集計対象 | 大学生 1,165人/大学院生 437人
※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2024/>

2023年卒：2022年6月12日時点

調査対象 | 2023年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2023』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生7,632人（内訳：大学生6,258人/大学院生1,374人）

調査期間 | 2022年6月12日～6月17日 集計対象 | 大学生 1,358人/大学院生 443人

2022年卒：2021年6月12日時点

調査対象 | 2022年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2022』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生8,736人（内訳：大学生7,261人/大学院生1,475人）

調査期間 | 2021年6月12日～6月17日 集計対象 | 大学生 1,727人/大学院生 557人

2020年卒：2019年7月1日時点

調査対象 | 2020年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2020』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生6,395人（内訳：大学生5,267人/大学院生1,128人）

調査期間 | 2019年7月1日～7月8日 集計対象 | 大学生 1,584人/大学院生 503人

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路の全て）」の回答状況を基に、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者＋志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- 「内定率」は内定・内々定を含む。政府の要請における正式な内定日は10月1日以降である
- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- 「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- 本資料での「前年」とは、「2023年卒」を示す

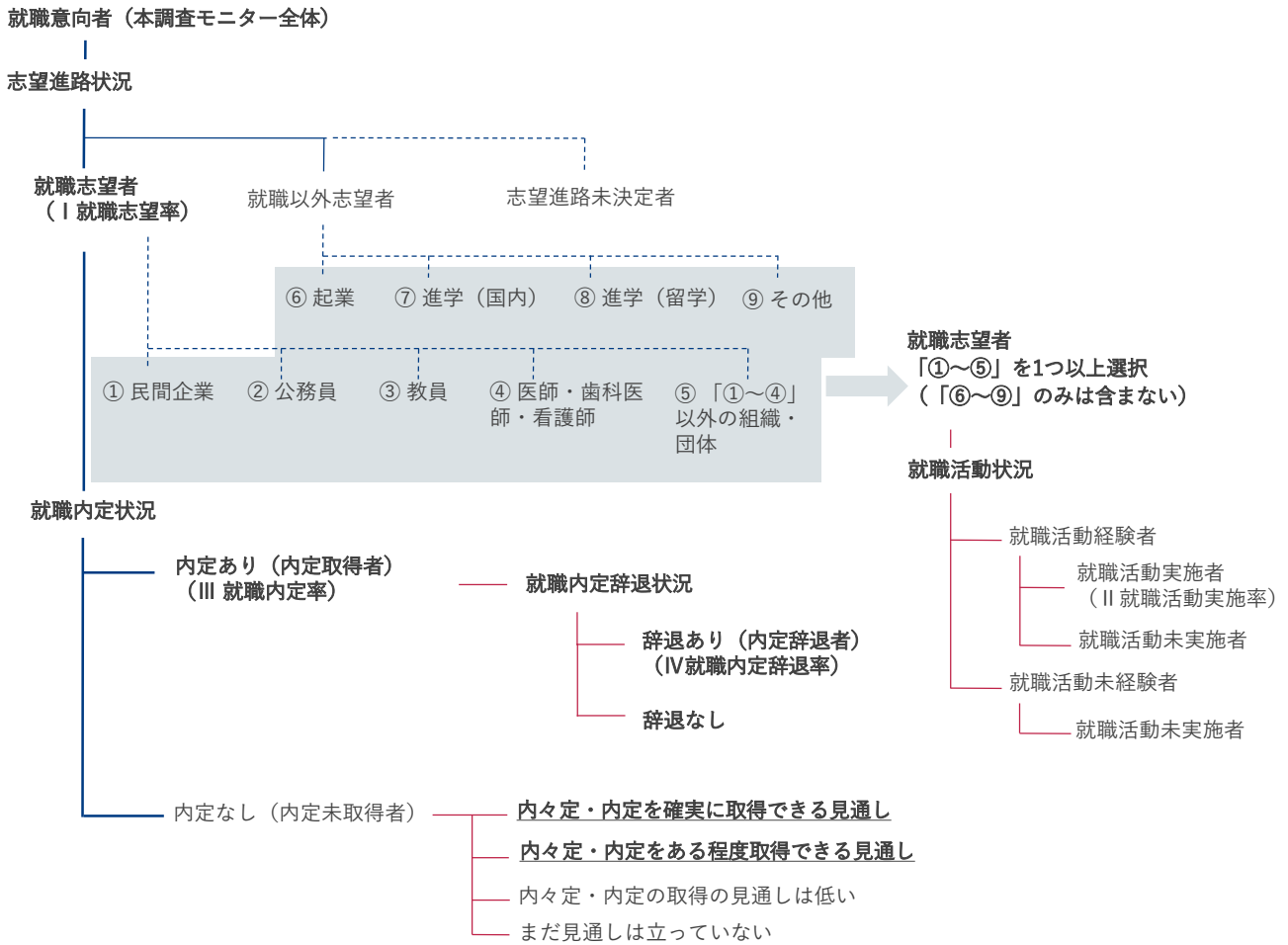
リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法>

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

<用語の定義>

- 就職意向者 = 当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者 (※)
- 就職活動経験者 = 当月までに就職活動の経験がある者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者
進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

<地域区分の内訳>

- 北海道・東北 = 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東 = 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
- 中部 = 静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
- 近畿 = 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
- 中国・四国 = 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州 = 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者